

道德教育実践事例論文原稿公募要領

日本道德教育学会研究委員会

日本道德教育学会「道德教育実践事例アーカイブ事業」とは、学会員のみならず広く道德教育に関わる関係者を対象とし、研究及び教育実践の促進および充実を目的に優れた道德教育実践記録等の論文をコンテンツ毎に学会ホームページ内等で保存し、会員相互が日頃の研究や教育実践を充実させていく際に自由に閲覧したり、未来への文化遺産として伝達したりできることを目的に展開しています。

この事業では本学会研究委員会がその実施者となって優れた道德教育実践事例論文を公募したり、事例研究成果物を収集したりし、会員相互の交流や研究がより促進されることを意図しています。このような趣旨にご賛同いただき、積極的に道德実践事例論文をご投稿いただけますようお願い申し上げます。

令和3年5月10日 日本道德教育学会研究委員長 田沼茂紀

《道德教育実践事例論文原稿公募要領》

1. 事業目的 学会員の優れた道德実践事例論文を公募し、その成果を情報として広く周知する。
2. 応募要件
 - (1) 本学会員であること。
 - (2) 公募する道德教育実践事例は幼児教育から大学教育までを対象とし、研究・実践の目的や内容、教材開発や指導法の創意工夫、道德教育カリキュラムや指導体制等の創意工夫において斬新さ、有用性、論理的妥当性が明確で優れた実践と認められるものであること。応募事例論文については研究委員会内にて複数名で応募要件内容の確認検討を行った後、学会ホームページ等で公表する。
 - (3) 公募する実践事例論文の分類は、以下の通りとする。(応募時に実践事例分類を明記のこと)
公募分類Ⅰ 道德科授業の工夫(教材活用・指導法・教材開発)に関する実践
公募分類Ⅱ 道德教育カリキュラム・指導体制の工夫等に関する実践
公募分類Ⅲ 上記以外の実践事例。
 - (4) 応募実践事例論文は、公刊雑誌や単行本に未発表のもの(研究発表等はこの限りではない)とする。また、実践事例原稿応募テンプレートによる文書とし、動画等での事例応募は受け付けない。
 - (5) 投稿実践事例論文は学会ホームページにて公開等する点を考慮し、A4用紙 横書き(Word 文書 40字×40行、最大8枚を基準とする)で作成し、学会ホームページ研究委員会情報バナー内の応募テンプレートへ貼り付けて研究委員長宛でメールにて提出するものとする。
[〒225-0003 横浜市青葉区新石川 3-22-1 國學院大學田沼研究室 学会研究委員長 田沼宛
TEL045-910-3707 / E-mail : stanuma@kokugakuin.ac.jp]
3. 応募論文要件適合確認審査と結果通知
 - (1) 応募原稿は研究委員会内にて応募論文内容確認審査内規(学会HP参照)に照らして事例論文採用審査をし、条件を満たしていればコンテンツ毎に分類してHPにて令和4年度学会春季大会までに公開する。また、応募状況を確認しながら成果周知方法等も引き続き検討していく。
 - (2) 応募論文採用の内容確認審査結果は、審査者のコメントも付して速やかに本人宛へ通知する。
4. その他 本事業の成果周知方法はホームページ公開に留まらず、学会大会等で発表機会を位置付けて広く周知する等の手立ての検討も今後は進めていきたいと考えている。また、学会誌『道德と教育』への論文投稿を促す契機となるよう、「論文作成セミナー」等の開催も併せて実施する。